

発 行
福井県大野市天神町1番1号
大 野 市 役 所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



7月の人口の動き

出生	男 29	女 28	計 57
死亡	男 20	女 16	計 36
転入	男 46	女 35	計 81
転出	男 38	女 47	計 85
世帯数	10,166(前月+3)		
人 口	42,543(前月+17)		
男	20,461	女	22,082

みんなぞきろり



かけがえのない郷土

環境保全条例制定へ

「かけがえのない地球」という言葉がよく聞かれるようになりました。

これは環境汚染が地球のあちこちらで発生している現在、世界中の人々が手を取り合って環境を浄化しようという、国連人間環境会議の合言葉です。

このような動きにもかかわらず、日本国内では公害がますますひどくなり、また範囲が拡大しています。

「水清ら風清ら…」と歌われている大野市でも、市民の方々から「川の汚れがひどく臭い」とか「工場の騒音に悩まされる」「家畜の悪臭がひどい」などの苦情が多く聞かれるようになりました。

このような公害をなくし、市民みんなが健康で幸せな暮らしをするには「かけがえのない郷土」をみんなの手で守らなければなりません。このため市では環境を守る方向と基準を定めることが大切で

あると考え、環境保全条例を制定するよう作業を進めています。8月13日には市の公害対策審議会(会長斎藤政雄氏)へ条例制定について要綱を諮問しました。

その内容の主な点を紹介しますと、まず環境には生活環境と自然環境の両面があるが、市は環境保全をすべての施策に優先することをうたっています。

具体的な内容としては、環境基準の設定や、環境保全の計画・対策を定め、環境を破壊する行為については調査、監視、公表をする。また環境保全対策、事業者との公害防止協定、環境保全対策審議会の設置なども挙げています。

市民や事業者はそれぞれの立場で、環境破壊防止のため最大の努力をする責務があると述べています。特に公害発生や環境を阻害する行為の規制では、悪臭・ばい煙を出すゴム、合成樹脂などを屋外

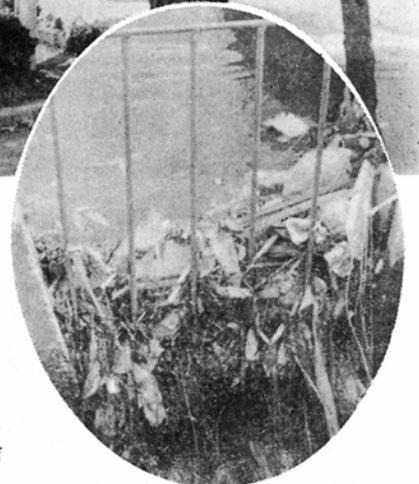


写真 上 緑と太陽と空間がある春日児童公園付近
下 ゴミいっぱいの水街の水路

で多量に燃やしてはならないとか、水路へ悪臭を放つゴミや汚水を流してはならないなどが盛り込んであります。違反すれば1年以下の懲役、または10万円以下の罰金などの罰則も含まれています。

市では公害対策審議会の答申を得て、来年3月には市議会の議決を得た上で、条例化していく予定です。市民生活に関係の深いものであり、地域に適合した条例にしなければなりませんので、ご意見などがありましたら、市庶務課へお聞かせ下さい。

暑かつたが
とて
楽しかつた

①



②



③



④



7万人参加の城まつり

第6回おおの城まつりは詩情豊かな民踊で幕開けし、まち中をわかせました。参加した市民の数は延べ7万人、今年は大間広場で氷まつりが行われて涼をさそったことや、郷土民芸大会なども開かれたことなどで、一層の盛り上がりを見せました。暑かった、しかし楽しかった半月間をいま一度、一部の写真をととして振り返ってみましょう。

- ① 「ホーイ、ホイ、ホイ、ホイ」老いも若きも掛け声よろしく「しっちょいな節」を踊りました。「御前踊り」や「大野音頭」を品よくこなしました。15・16日の大間広場には延べ4万5,000人が浴衣姿で参加し、暑さを忘れて踊りを楽しみました。
- ② 15日亀山では金森長近公顕彰式が行われ、大野城では14日から3日間特別武具展が開かれました。山を登って来た汗も 氷のやいばと会場に吹き入る涼しい風とでヒンヤリといい気持ち。入館者は延べ2,000人でした。
- ③ 厚い人垣の中は郷土民芸大会。市内のあちこちに古くから伝わっている歌や踊りが披露され、盛んな声援を受けました。炎天続きの毎日に「雨乞い踊り」が出れば雨恋し、「かんこ踊り」の出場には過疎のむら打波地区の民芸だけに、ガンバレの声もかかりました。

- ④ 吹奏楽パレードは市内4中学校のバトンガール、ブラスバンド部の生徒によって行われました。若さあふれる演奏と、ツートンカラーのユニホームで見事なバトンさばきを見せ、押すな押すなの人垣でした。
- ⑤ 「エーイ、オー」気合も勇ましい柔道・剣道大会は、15日に有終西小学校講堂で行われました。柔道着、剣道着に身を固めたチビッコ三四郎や豆剣士も参加、元気な試合に、観客から盛んな拍手を浴びていました。
- ⑥ 静かに流れる無数の燈ろう。燈ろう流しは16日夜赤根川で行われました。この行事はお盆に里にもどられた祖先の霊をお送りするといわれています。川辺には約1,000人の市民が祈りをこめて川いっぱい広がる燈ろうの明りを見守っていました。



北部保育所の建設始まる

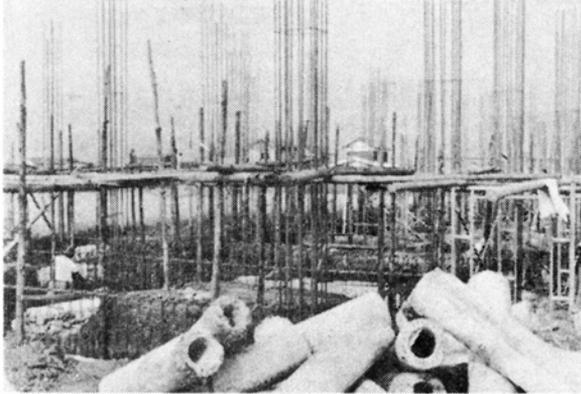
来年4月開所、定員は150人

北部保育所の建設が8月から始まりま
した。この保育所は北部土地区画整理事
業の区域内(中荒井地係)に1,614平方

の敷地を確保して、総事業費6,270万円
で鉄筋コンクリート2階建て904平方
メートルのものを建設します。中には保育室5と
遊戯室・医務室・浴室
などを備えます。

昭和49年3月に完成、
4月から開所の予定で
す。入所定員は3歳未
満児70人と3歳以上の
児童80人の計150人で、
市内では一番大きな保
育所になります。

また、3歳未満児を
定員の約半数近く保育
するのも、この保育所
の特徴です。



鉄骨が立ち並ぶ北部保育所建設現場

今月の納税

保険税・国民年金保険料 第2期

30日までに納めて下さい。

黒谷河内・鬼谷・森山林道

11月に完成

広域流通と森林資源の開発に一役

市では林業の振興策として、林道黒谷
河内線の完成を急ぐと共に、鬼谷・森山
林道の新設工事を進めています。



黒谷河内線は昭和44年度から総工費1
億1,000万円をかけ、延長5,870米、幅員
3.6米を新設しているものです。

工事は後966米で、今年の11月に開通
の予定です。この道路が完成しますと林
業振興に役立つばかりでなく、大野市と
美山町の南部を結ぶ唯一の道路となり、
産業・文化の交流に大きな役割を果たし
ます。

鬼谷林道は今年2,019万円をかけ、長
さ970米、幅員4米を新設するもので、左
開地区440米の山林資源の造成に役立
てます。また森山林道は700万円で延長820
米、幅員3.6米をつくり、森山地区115米
の山林開発に活用します。両林道とも11
月完成の予定です。(写真は鬼谷林道
工事)

陽明中体育館に着工

建設は最終段階へ

陽明中学校体育館の建設工事が始まり
ました。事業費は9,300万円で、鉄骨・
鉄筒コンクリート造り1,551平方米のも
のです。

これはバレーボールなら正規のコート
が2面、バスケットボールなら1面、バ
ドミントンは4面とれるよう設計されて

おり、昭和49年3月に完成
します。

陽明中学校建設は昭和46
年5月から始まり、第1期工事は普通教
室1棟、第2期工事は昭和47年5月から
始め特別教室、調理室など1棟を造りま
した。第3期工事は今度の体育館建設で、
これですべての工事が終わります。

この学校の建設費は総額で3億4,055万
円になります。

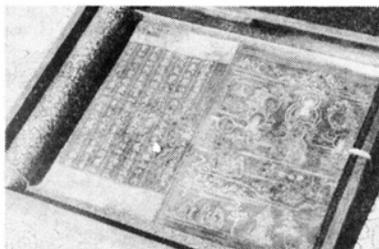


④

紺紙金字経

にしき 錦町妙典寺に重宝として伝わる紺紙
かま

金字経10巻は、鎌
倉時代の写経で昭
和33年市の文化財
に指定されました
写経は天平年間
に始まり、奈良時
代には各寺院で盛
んに行われました



が、平安中期からは個人的写経も盛ん
となり、意匠を施した美しい装飾経が

多くなりました。

妙典寺の金字経は、金銀の切箔砂子
で装飾した紺色の料紙に、法経華8巻
その他のお経2巻が金字で書いてあり、
各巻のはじめには、经文の所説にした
がって、これを図絵してある優麗典雅

な巻物です。この
10巻を納めた経管
は、時代蒔絵の優
美なもので「奉施
入、大願主沙門宗
俊敬白元弘三季(1333)癸酉(みず
のと)九月日」

と書かれ、筆者と年代がはっきりわか
ります。(岩治勇一氏の解説による)

献血にご協力を

献血車が次の日程で巡回します。ご協
力下さい。

9月6日(木) 越前大野駅前

18日(火) 大野公民館前

23日(日) 福井銀行大野支店前

時間はいずれも10時～15時



9月15日の敬老の日を中心に、全国的にお年寄りを敬い励ます行事が行われます。大野市でも各地区で敬老会がもたれ、70歳以上の方が1日楽しく過ごされます。しかし、これらの行事にも参加できず、ひとり寂しく病床におられる方もかなりあります。永らく社会のために尽してこられたお年寄りが、健康で安らかな生活が送られるようにするにはどうしたらよいか。この機会にいろいろな問題を掘り出し、みんなで考えてみましょう。

孤独と病気が
大きな悩み

増える高齢者人口

お年寄りとは普通65歳以上の人を言います。この中にはまだ社会の第一線で働いておられる人から、静かに余生を送っておられる人など様々です。

このお年寄りの人口は近年全国的に増加しています。大野市も同じで、今年市が作った振興計画の資料第1表を見ますと、その推移がはっきりとわかります。

また、世帯の構成員も変わってきました。全国平均では1世帯当たり3.7人、市平均は4.1人で、夫婦と子供だけの核家族化が進んでいます。

こうした目まぐるしい社会の変化、増加するお年寄り、進む核家族化などの谷間に、老人の幸せをはばむ問題があるのではないのでしょうか。

寂しい1人暮らしが増加

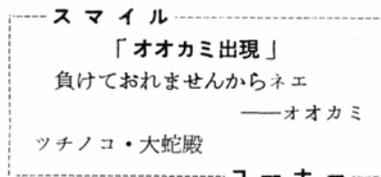
市内には1人暮らしのお年寄りが103人おられます。その理由の中で1番多いのが「子供の仕事の都合で」、次は「若い者との人間関係がうまくいかないから」、その他「お互いが自由に暮らすため」とか「子供が他家に嫁いたので」、「子供が

ない」などが挙げられます。

大野市社会福祉協議会では、今年の始めこの103人を訪ねて、生活上の悩みや意見をお聞きしましたが、その中でお年寄りは孤独と病気について最も深刻な問題をもっておられることがわかりました。

具体的な内容を幾つか挙げてみましょう。パーセントは全体に対する割合です

- 毎日の生活が寂しい 19%
- 子供や孫、親類の人が全く来てくれない 17%
- 話し相手がない 17%
- いつも病気がちである 24%



- 病気になっても看病してくれる人がいない 25%
- その他、生活費が苦しい、心細いなどが聞かれました。



次に老夫婦だけの家庭は市内に40世帯あります。今年は病気で寝たきりのお年寄りが223人おられます。毎年10人程度増えていますが、この方々の多くは数年にわたり病氣と闘っておられます。

悲しい記録を更新

老後になって病氣と孤独との闘いが始まるとしたらこんな悲劇はありません。しかしこの傾向が現われています。厚生省統計調査部の資料によりますと、昭和47年1年間の老人(60歳以上)の自殺者は5,643人(男2,793人、女2,850人)で、1昨年より562人も多く、悲しい記録を更新しました。

経験を社会に生かして

お年寄りは永年にわたって社会の発展に尽してこられた方々です。社会の人々から尊敬され、安らかな生活が保障されなければなりません。

またお年寄りの方々は、まず自分の健康に心して、過去に体得された貴重な知識と経験を社会に生かしていただきたいと思います。この両面がかみ合ってこそお年寄りに真の幸せがあると言えます。これは老人福祉法の基本理念でもあり、国・県・市が老人福祉行政を進める指針ともなっています。

第1表 高齢者人口の推移

区分	昭和						
	30年	35	40	45	47	48	60
老人人口(A) 65才以上	3,100	3,432	3,811	4,246	4,341	4,435	5,100
(B) 総人口	47,621	46,271	44,873	42,241	43,174	42,594	46,000
比率 % (A/B × 100)	6.5	7.4	8.5	10.0	10.1	10.4	11.0

第2表 老人医療費の実態

	昭和47年3月	昭和48年3月
老人医療費額 (A)	626万円	1,096万円
市医療費全額 (B)	4,127万円	4,697万円
比率 ($\frac{A}{B}$)	15.1%	23.3%

治療より予防を

「お年寄りに安らかな生活を」の第1歩は、昭和46年から始めた70歳以上の方の医療費の無料化です。その後の実績を一部紹介するため、国民健康保険による医療費について、昭和47年3月と48年3月を比べてみますと第2表のようになっています。

この表から市全体の医療費の中で、お年寄りの医療費の占める割合が1年で大きく伸びたのがわかります。

これはお年寄りがお医者さんにかかり健康になろうと努力しておられる証拠です。これからも充分利用していただくと共に、もう一歩進んで病気を予防し、早期の発見に心掛けてほしいものです。

市では毎年10月に、65歳以上の方に無料で健康診査をしています。しかし、これまでの受診の成績はあまりよくありません。もっと進んで診査を受けましょう。

家庭奉仕員が世話を

市では家庭奉仕員を3人委嘱してあります。この人達は市内の寝たきり老人のうち、家族以外の人の世話になっていたりと、家族の人も病弱で世話のできない家庭を訪問して、身の回りの世話や家事、またいろいろな生活上の相談にあずかっています。また、永らく病床についておられるお年寄りには、特殊寝台を無

料でお貸ししています。普通の寝具で永らく寝ていると、どうしても不衛生になりますし、また床ずれなどができます。

この外、毎年約20人の方に寝具を贈り、早く回復されるよう励ましています。

社会福祉センターの建設も

市ではいま、社会福祉センターの建設を計画しています。この建物の構想は鉄

筋コンクリート3階建て延べ3,000平方メートルで、中には老人憩いの室、宿泊施設・浴室・機能回復訓練室・授産室・職業指導室・会議室などを設け、老人・児童・母子家庭者・心身障害者などの憩いと訓練の場としての計画です。



真剣に勉強する大野高齢者学級のお年寄り

教室が生きがいの泉に

「若い者には負けられん。進んで勉強して社会や家庭に役立つ年寄りになるんじゃ」これは大野高齢者教室の高木辰之助さん(82歳)の言葉です。「心にシワはない」の言葉を付け加えることを忘れません。

高齢者教室は、市が今年から新しくお年寄りの勉強の場として6教室(大野・下庄・乾側・小山・上庄・富田)開いたもので、1教室の経費は30万円、県内外から専門の講師を招いて「老人の生きがい」とか「趣味と生活」「若い世代への理解」あるいは「家庭での年寄りの役割」などの学習に取り組んでいます。

どの教室もいつも会場はいっぱいの盛況で、しかも時間効行に関しては他の模範となっています。

学級担当の公民館職員も「社会教育活動の優等生はお年寄り、他の人も見習ってほしい」とほめています。

これからますます充実した教室にしてお年寄りの「生きがいの泉」にしていきたいものです。

友達づくりは老人クラブで

お年寄りの自主的な団体として老人クラブがあります。現在市内に57クラブあり、会員は3,621人です。

どのクラブも学習やレクリエーション視察旅行などを行ってまず会員同志が親しく交わり、孤独感を覚えないよう努めています。また社会奉仕作業などを行い

住みよい地域社会づくりにも一役買おうと活発に活動しています。中には小山老人クラブのように畑(福寿園)を持ち、取入れは児童と共に、子供とのぎやかなを大切にしようという特筆すべき活動もあります。

会員はおおむね60歳以上で、市内には

対象者が約6,300人ありますが、未加入の方が相当ありますので、積極的な参加が望まれています。市は活動助成費として141万2,000円を計上しています。



市ではこの外敬老会や米寿を祝う事業などを行っていますが、お年寄りの生きがいはやはり家庭の暖かさの中から生れるようです。

そして生きがいをなくする最大の問題は孤独と病気であることもわかりました

お年寄りの幸せのため、いま一度お年寄りはお年寄りで、また若い世代や市当局はそれぞれの立場で「何をすべきか」を考え、お互いに力を合せて明日のある老後の生活を築いていきましょう。

出火が多い乾燥機

周囲は不燃材料で

秋の収穫期を迎えました。毎年モミ乾燥機からの出火が多いので、その設置場所についても一度点検し、防火に万全を期しましょう。

- 1、床は土間またはコンクリートになっているか。
- 2、天井や壁などは不燃材料を使ってあ

り、安全な距離（天井から1.5m以上、壁から60cm以上）がとられているか。

- 3、火炉は不燃性の台の上に置き、床面には通気用のすき間があるか。
- 4、石油類を燃料とする火炉は燃料タンクとの間が2cm以上離れているか。
- 5、配管は金属管を使用しているか。
- 6、消火器が配置してあるか。
- 7、火気を使用している時は監視人がいるか。

着の堅実な文化のにおいが漂っている。現在失なわれつつある人間性の回復の基盤に立って、生きた生活の創造に邁進しよう。

募集規定

- 1、応募資格 大野市民
- 2、字 数 400字詰原稿用紙5枚以内
- 3、締 切 日 10月10日
- 4 提 出 先 大野市明倫町3-28
大野公民館内「大野市総合文化祭実行委員会」
- 5 表 彰 入選作3点、賞状、賞品を進呈。

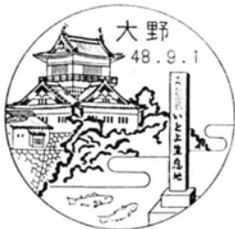
お知らせ

◆…点訳講習会に受講を

県視力障害者福祉協会では、9月28日から10月28日までの毎週日曜日の午後1時30分から3時まで、大野公民館で点訳奉仕員養成講習会を行います。ご希望の方は、市福祉事務所（電話6-1111内線292）へ申し込んで下さい。

なお現在点訳図書が不足しており、市民の方々のご協力を求めています。

◆…新しくなる日付印のデザイン



大野郵便局では、9月1日から風景入り通信日付印を越前大野城と天然記念物いとよのデザインに改め、郷土の名所・

史跡を全国に紹介します。なお この改正を記念して記念消印に応じます。切手帳の発売もしています。

◆…市全域で作業停電

9月20日（木）午前8時から11時50分まで、友江変電所の設備増強と配電線の総点検のため、大野市全域にわたり作業停電します。ただし次の区は除かれます
上五条方(畑兼)・佐開・木落・蕨生(中出)・東勝原・西勝原・上打波・下打波。

◆…文化祭のテーマ論文を募集

第7回大野市総合文化祭は、11月1日から3日まで市民会館を主会場として開かれます。このテーマ論文を次のように募集しますので奮ってご応募下さい。

テーマ「創造への躍進」

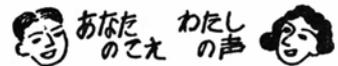
テーマの意味するもの……旅人たちの郷愁をそそる古里は、今や数少くなりつつある。その反面 物質文明の上に安易にアグラをかいた虚飾のネオンは、素朴な人間の心を荒廃へと誘惑する。一方、奥越のひなびた古い町や村には今なお土

◆…不用品を交換しましょう

大野市貯蓄推進委員会は、資源愛護と物を大切にす運動として、不用品交換会を次のように開きます。ご参加下さい
不用品の受付

9月8日(土)13時～16時 市役所大会議室 売出し

9月9日(日)9時～16時 市役所大会議室



道路の土砂を有効に

<お尋ね> 向島線の舗装工事が8月20日から始まりましたが、この道路に敷設してある土砂は良質で大量です。

掘り返してどこかへ運搬していますがもし廃棄処分しているのでしたら、少しでも市の財源になるよう考えてほしいものですが…

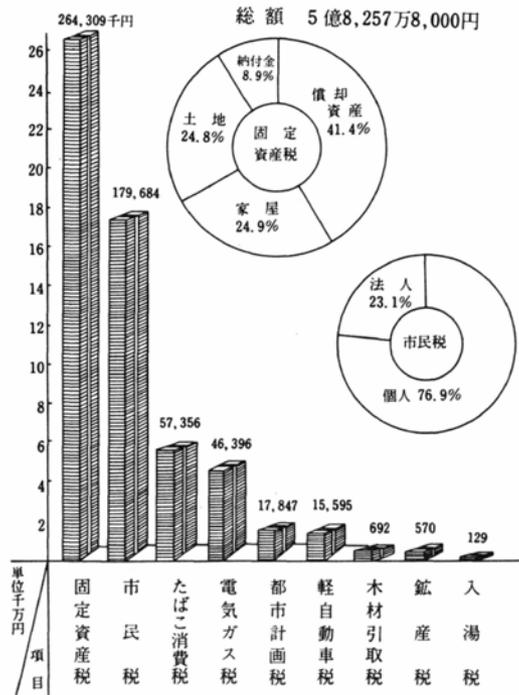
<お答え> 掘起こした土砂は全部、北部土地区画整理地区の公園などの公共施設造成の盛土として利用しています。



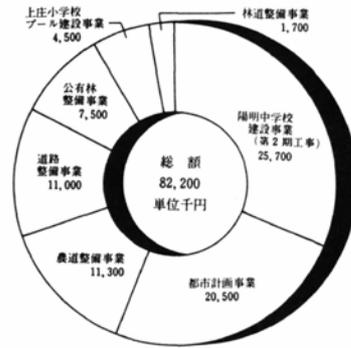
年輪の重みが額のシワに深く刻み込まれた老人に接するとあたかも永い風雪に耐えて生き続けてきた大樹を仰ぐ感がある。中天を覆う枝葉の茂りの華やかさはなくとも、満身創いの幹にはコケも蒸し、あるいは半ば朽かかけた樹皮にわずかに支えられたものさえある。その老木もやがては朽ちて母なる大自然の懐に静かに帰る宿命をもつ。そしてまた種子は芽生えて新たな生命は育ち、生き続ける。▼人間もまたこのような存在であるのだが、時として大きな思いを起し、誤りを犯す。

老齢人口の増加に伴うさまざまな悲劇は後を断たないばかりか、ますます増加の傾向にある。核家族の増加と時代感覚のズレとのみ言いつね切れないものが、その底に流れているのは一体何だろうか▼一方老齢者福祉対策は年々強化充実される傾向にあるが、それがかえって老人軽視の方向に気安く肩代りされる風潮が目立つ。この老人ホームも満員であつたり、養老院等の施設をいくらか増やしても追付かない現象がそれである。お年寄りだけが集団生活する世界は、一見平和にみえるが、子供たちの笑い声やざわめきのない村の寂しさに似て、むしろせいぜい惨さを感じると医師は述懐する。病院においても然り。家庭看護のできない老人によってベットの不足している。病理現象を超えて社会的要因の方が、この面にも優先している。▼経済成長のヒズミは自然上の調和を破り、人の心にも波及しやがては生活全体の乱れにも連なる。灰で縄をなうことを老人から教えられた城主が、姥捨山の風習を改めた故事を現代にこそ生かすべきである。老人を家庭にもどせと強く提唱する次第である (M生)

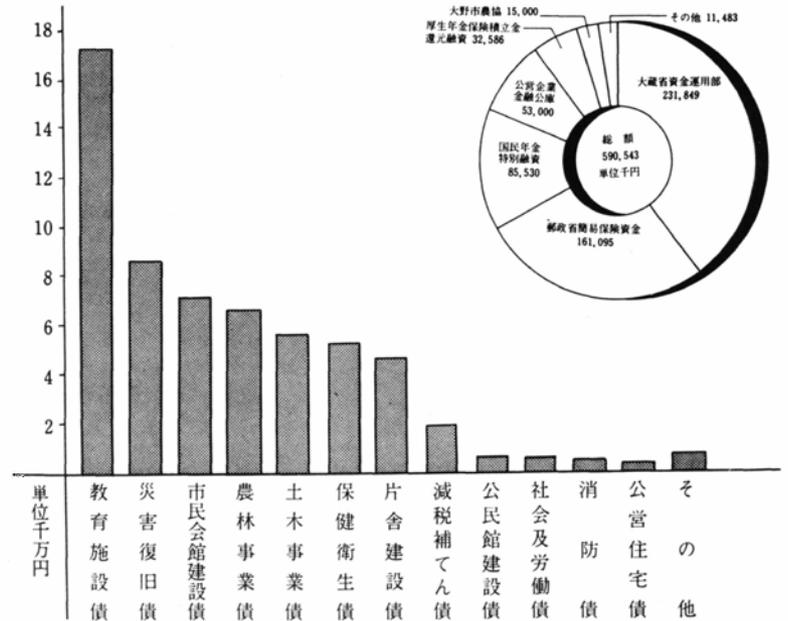
市税の収入状況



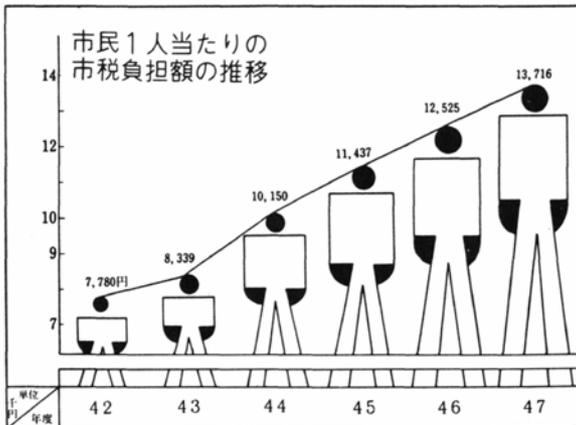
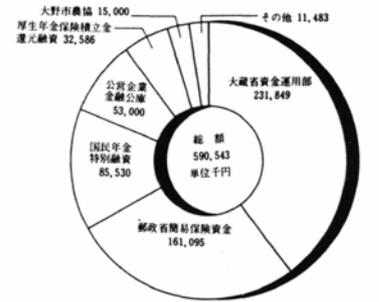
昭和47年度市債の借入状況



昭和47年度末目的別市債の現在高



昭和47年度末借入先別市債の現在高



1世帯当たり	市税負担額	1人当たり
17,767円	市民税	4,230円
26,135	固定資産税	6,222
1,542	軽自動車税	367
5,671	たばこ消費税	1,350
4,587	電気ガス税	1,092
68	木材引取税	16
56	鉦産税	13
12	入湯税	3
1,764	都市計画税	420
57,606	合計	13,716

建物延べ 90,036㎡ 宅地 379,722㎡	山林 1,152.3ha その他 6.0ha	有価証券 88万円
<p>公有財産の状況</p> <p>昭和48年3月31日現在</p>		
<p>基金</p> <p>財政調査基金 1億9,495万2,000円</p> <p>土地開発基金 9,014万8,000円</p> <p>教育施設整備基金 4,000万円</p> <p>その他基金 741万9,000円</p>	<p>出資金 983万円</p>	<p>自動車 54台 (内消防車20台)</p> <p>単車 15台</p>